

7 監査第 99 号
令和 8 年 1 月 14 日

安曇野市長 職務代理者 渡辺 守 様

安曇野市監査委員 内川 博文
安曇野市監査委員 野本 博之
安曇野市監査委員 遠藤 武文

令和 7 年度定期監査の結果報告について

地方自治法第 199 条第 4 項の規定により、令和 7 年度定期監査を実施したので、その結果について同条第 9 項の規定により提出します。

なお、同条第 14 項の規定に基づき、措置を講じたときは、その旨を監査委員に通知してください。

令和7年度

定期監査報告書

安曇野市監査委員

- (注) 1 表中の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。このため差引額、合計及び比率が一致しない場合があります。
- 2 表中の比率は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示してあります。
- 3 表中に用いるポイントとは、パーセンテージ間の差引数値です。
- 4 表中の符号の用法は次のとおりです。
「－」は本年、前年ともマイナスで、比較ができない箇所です。
- 5 文中の「本年」は「令和7年」、「前年」は「令和6年」を表しています。

第1 実施方針

地方自治法第199条第1項に規定する財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が、同法第2条第14項、第15項及び地方財政法第4条の規定に沿って行われているか検証することを目的に実施しました。

第2 監査の期間

令和7年10月14日から令和8年1月14日までです。

第3 監査の対象及び方法

令和7年度定期監査実施計画に基づき、本年度9月末までの財務に関する事務の執行状況及び経営に係る事業の管理状況について、あらかじめ関係資料の提出を求めました。

監査に当たっては、諸帳簿・書類の審査と併せて関係職員の説明を受け監査を実施しました。また、出先機関へ出向き、施設の管理や財務に関する事務の執行について、実地監査を実施しました。

第4 監査の実施日及び実施部等

実施日	実施部課等	実施場所
10月31日(金)	・たつみ認定こども園 ・三郷西部認定こども園	現地
11月5日(水)	・保健医療部 健康推進課、健康支援課、国保年金課 ・危機管理課 ・市民生活部 地域づくり課、市民課、環境課、移住定住推進課、ゼロカーボン推進課 ・商工観光スポーツ部 商工労政課、観光課、スポーツ推進課	市役所 共用会議室 305
11月10日(月)	・都市建設部 建設整備課、維持管理課、都市計画課、建築住宅課 ・議会事務局 ・農林部及び農業委員会事務局 農政課、耕地林務課 ・福祉部 福祉課、高齢者介護課、障がい者支援課	
11月13日(木)	・教育部 学校教育課、学校給食課、生涯学習課、文化課、子ども家庭支援課、こども園幼稚園課 ・会計課 ・政策部 政策経営課、秘書広報課、行革デジタル推進課、人権共生課 ・上下水道部 経営管理課、上水道課、下水道課	
11月17日(月)	・総務部 総務課、職員課、財政課、税務課、収納課、財産管理課、契約検査課 ・選挙管理委員会事務局、監査委員事務局	

第5 監査の結果

一般会計予算及び特別会計予算の執行状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区分	年度	令和6年度（9月末）			令和7年度（9月末）			一般会計 (比較増減) (前年度対比)	特別会計 (比較増減) (前年度対比)	合計 (比較増減) (前年度対比)
		一般会計	特別会計	合計	一般会計	特別会計	合計			
予算現額		53,916	21,511	75,427	55,624	21,675	77,300	1,708	164	1,872
								103.2%	100.8%	102.5%
歳入	中間執行額	22,035	9,301	31,336	22,120	9,245	31,366	85	△ 55	29
	執行率	40.9%	43.2%	41.5%	39.8%	42.7%	40.6%	△ 1.1%	△ 0.5%	△ 0.9%
歳出	中間執行額	21,272	8,603	29,875	21,709	8,740	30,449	436	137	573
	執行率	39.5%	40.0%	39.6%	39.0%	40.3%	39.4%	△ 0.5%	0.3%	△ 0.2%
歳入歳出差引残高		762	697	1,460	411	504	916	△ 351	△ 193	△ 544
								54.0%	72.3%	62.7%

公営企業会計予算（上・下水道会計）の執行状況は以下のとおりです。

【収益的収支執行状況】

(単位：百万円)

区分	年度	令和6年度（9月末）			令和7年度（9月末）			上水道 (比較増減) (前年度対比)	下水道 (比較増減) (前年度対比)	合計 (比較増減) (前年度対比)
		上水道	下水道	合計	上水道	下水道	合計			
予算現額	収入	2,287	3,751	6,038	2,263	3,801	6,065	△ 23	49	26
	支出	2,067	3,725	5,793	2,079	3,790	5,870	11	65	76
収入	中間執行額	997	2,088	3,085	1,003	1,998	3,002	6	△ 89	△ 83
	執行率	43.6%	55.7%	51.1%	44.3%	52.6%	49.5%	0.7%	△ 3.1%	△ 1.6%
支出	中間執行額	424	772	1,197	425	806	1,232	1	34	35
	執行率	20.5%	20.7%	20.7%	20.5%	21.3%	21.0%	0.0%	0.6%	0.3%
収益的収支差引残高		572	1,315	1,888	577	1,192	1,769	5	△ 123	△ 118
								100.9%	90.6%	93.7%

【資本的収支執行状況】

(単位：百万円)

区分	年度	令和6年度（9月末）			令和7年度（9月末）			上水道 (比較増減) (前年度対比)	下水道 (比較増減) (前年度対比)	合計 (比較増減) (前年度対比)
		上水道	下水道	合計	上水道	下水道	合計			
予算現額	収入	240	2,071	2,311	395	2,582	2,977	154	511	666
	支出	1,878	3,643	5,522	2,518	3,654	6,172	639	10	649
収入	中間執行額	49	303	352	37	708	746	△ 11	404	393
	執行率	20.4%	14.7%	15.3%	9.6%	27.4%	25.1%	△ 10.8%	12.7%	9.8%
支出	中間執行額	1,170	1,861	3,031	1,572	1,744	3,316	402	△ 117	285
	執行率	62.3%	51.1%	54.9%	62.4%	47.7%	53.7%	134.4%	93.7%	109.4%
資本的収支差引残高		△ 1,121	△ 1,557	△ 2,678	△ 1,534	△ 1,035	△ 2,570	△ 413	521	108
								—	—	—

本年度9月末までの予算の執行状況及び事務事業は、実施した監査の範囲内において、おおむね適正な状況にあるといえます。

なお、今後の行財政運営にあたっては、限られた財源を有効に活用し、健全財政の維持向上に努めるよう要望します。

実地監査の状況、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理に関する個別の要望及び意見は以下のとおりです。

また、軽微な誤謬等については監査実施時にそれぞれ部局等へ口頭により指示をしました。

1 実地監査の状況について

(1) たつみ認定こども園（教育部 こども園幼稚園課）

ア 現金等の管理について

- ・ 職員の給食費は、受領した日のうちに金融機関または市役所に納入していました。
- ・ 常時保管している現金はありませんでした。
- ・ 金庫は鍵の掛かるキャビネットに保管され、金庫とキャビネットの鍵はそれぞれ別々に適切な保管場所で管理していました。
- ・ タクシー券は金庫に保管し適正に管理していました。

イ 備品管理について

- ・ 無作為に抽出した備品について、現物を確認したところ、備品シールが適切に貼付されていました。また、備品台帳は定期的に確認していました。
- なお、備品に貼付することが困難な備品シールは別の場所で保管していました。

ウ その他

- ・ 火災、地震、水害、不審者、危険物（灯油等）の流出のいずれかを想定した避難訓練を月1回実施していました。
- ・ 出退勤はQRコードで認証する保育業務支援システム「コドモン」により管理していました。
- ・ 事故防止のため、送迎等の駐車場混雑時には、職員が駐車場に立ち安全対策をしていることを聴取し確認しました。
- ・ 給食に関しては、栄養士の指導の下、アレルギー対応食を実施していました。

(2) 三郷西部認定こども園（教育部 こども園幼稚園課）

ア 現金等の管理について

- ・ 職員の給食費は、受領した日のうちに金融機関または市役所に納入していました。
- ・ 常時保管している現金はありませんでした。
- ・ 金庫は鍵の掛かるキャビネットに保管され、金庫とキャビネットの鍵はそれぞれ別々に適切な保管場所で管理していました。
- ・ タクシー券は金庫に保管し適正に管理していました。

イ 備品管理について

- ・ 無作為に抽出した備品について、現物を確認したところ、備品シールが適切に貼付されていました。また、備品台帳も定期的に確認していました。

ウ その他

- ・ 火災、地震、水害、不審者、危険物（灯油等）の流出のいずれかを想定した避難訓練を月1回実施していました。
- ・ 事故防止のため、送迎等の駐車場混雑時には、職員が駐車場に立ち安全対策をしていることを聴取し確認しました。
- ・ 給食に関しては、栄養士の指導の下、アレルギー対応食を実施していました。

2 総括的な指摘・意見について

(1) 内部統制制度について

本制度を導入して2年目となります。制度導入においては準備期間が短かったこともあり、内部統制評価報告書審査意見書に記載のとおり、「リスク識別」と「リスク対応策」においていくつかの課題が認められました。

本制度の導入については、政令指定都市以外の市町村は努力義務となっており、実施している自治体が少なく参考事例等が乏しいのが現状です。そのため地方公共団体向けの研修のほか、上場企業向けの実務指針、事例等を参考に、より実効性のある制度へと運用水準を高めるよう努めてください。

(2) 20周年記念事業について

安曇野市制施行20周年記念市民提案事業補助金には、9月末時点で33件と多くの提案が寄せられ、予算額を1,000万円から1,680万円に増額しています。

市民参加の証として市民からの関心を寄せる記念事業にふさわしい非常に有意義な事業であると考えます。

3 各部課等に対する指摘・意見について

【総務部】

(1) 職員課

- ・ 育児休暇や療養休暇等の休職者について、前年同期23人に対して本年は33人で10人増加しています。

休職者が増えることにより職員ひとり当たりの業務負担が増加し、メンタル等の不調に繋がる恐れがあります。現職員に対して勤務状況や健康面の把握に努めるとともに、適切な人員配置を心掛け、特定の職員に業務が集中しないよう要望します。

(2) 契約検査課

- ・ 「令和6年度ながの電子調達システムの導入及び運用に係る負担金（県負担金）」において、過年度支出が行われていました。地方自治法第208条第2項では「各会計年度における歳出は、その年度の歳入をもってこれに充てなければならない。」とされています。過年度支出は、会計年度独立の原則の例外ではありますが、本来は当該年度に支出すべきものであるため、これらの事を十分念頭に置いて組織的にチェック体制を強化し適正な事務処理に努めてください。

【福祉部】

(1) 福祉課

- ・ 生活保護について、被保護世帯数が320世帯、被保護人員が359人と、前年同期と比べ22世帯、20人増加しています。
引き続き、生活就労支援センター（愛称：まいさぼ安曇野）やハローワーク等の関係機関と連携を密にし、それぞれの対象者に合ったより効果的な自立支援の実施に努め、対象者の早期自立に向けて取組んでください。

(2) 障がい者支援課

- ・ 本年6月の高齢者介護課からの公金振替による収入に対して、調定票が起票されていない事案がありました。その原因として、本事案が特殊な事例であるにも関わらず、正確に事務引継ぎがされていなかったことによるものです。これまでも同様の事務は毎年発生していましたが、問題なく処理されていました。
事務引継ぎを確実に行うことはもちろんですが、定期的に執行状況を確認する等事務処理の中でミスが発見できる仕組みづくりを検討するよう要望します。

【教育部】

(1) 文化課

- ・ 業務内容と契約期間等が近似する業務について、分割発注と捉えられる可能性のある事案がありました。発注前には現地を十分確認のうえ、一括発注ができないか精査すると共に、分割して発注する場合の合理性の検証に努めてください。